

令和4年度

授業で活かせる 自然の博物館 活用講座

こんなことに困っている先生はぜひ！

- 新学習指導要領に「博物館の積極的活用」とあるけど、
どうすればいいかな・・・
- 校外行事でどこに行こうかな・・・
- 子どもたちにホンモノを見る・触る体験をさせたいな・・・

当館の活用方法や事例の紹介、授業で使える資料の紹介、
学芸員による資料づくり技の伝授（詳細は裏面）、
体験活動の現場解説を行います



参加者には「博物館活用事例集」をプレゼント！！

日時	令和4年10月14日(金) 14:20~16:40
場所	埼玉県立自然の博物館 及び その周辺
定員	対面(現地): 40名 オンライン(zoom): 100名
申込期間	9月14日(水)~9月27日(火)
申込方法	下のURLの御入力か、QRコードを読み取りいただき WEB上での申込み。 ※埼玉県電子申請システムからの申込み URL https://s-kantan.jp/pref-saitama- u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=40951
その他	<ul style="list-style-type: none">・対面での参加者の方は、河原や雑木林の中を歩きますので、動きやすい服装で、底面が滑りにくい靴をご着用ください。・新型コロナウイルス感染予防対策を行った上で開催します。・マスクの着用をお願いします。



埼玉県立自然の博物館

所在地 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417-1
TEL 0494-66-0407 FAX 0494-69-1002
Mail t6604042@pref.saitama.lg.jp



学芸員による資料づくり ～技の伝授～

「葉脈標本づくり」

「葉脈」は、小学校では第6学年、中学校では第1学年及び第2学年で学習します。葉脈には、水が通る管（道管）と養分が通る管（師管）が集まっています。

当講座では、葉の肉をとかし、葉を葉脈だけにする標本のつくり方をレクチャーします。葉の中で葉脈がどのように通っているかを学んだり、道管と師管を分けて観察できるので、それぞれの管の通り道を確認できます。

標本づくりをとおして、児童生徒の興味関心を高められ、学習が深まることはもちろん、この標本をしおりやカードにすることで授業の成果が形として残ります。



当講座では、植物担当学芸員の実演により、標本作成の手順、標本づくりに適した葉や工夫する点等を解説します。

